

機械設計のための総合力学

～機械に関する力学全般を学びたい方に最適なコースです～

製造現場の設計技術者は、「安全率や許容応力はどれを選べば良いのか？」に戸惑うことが多く、専門書にもはっきりとは書いてありません。顧客に自信を持って説明するには、その根拠を基礎から学ぶ必要があります。

本コースでは、機械メーカーで設計に従事していた講師により、最低限必要な力学に関する基礎の解説(復習)から、実用面でのノウハウまで紹介します。

実践技術者の人材育成に最適な内容となっています。

◆◆◆◆開催概要◆◆◆◆

- 【日程】 9月2日(月)・3日(火)・4日(水) 3日間
 【時間】 各日共 9:30 ～ 16:15
 【場所】 堺市産業振興センター 5階 会議室3
 〒591-8025大阪府堺市北区長曾根町183-5
 電話:072-255-6700
 【講師】 近畿職業能力開発大学校 講師
 【対象】 堺市内の中小企業等にお勤めで、機械設計や設備保全関連の業務に従事する方、またはこれから担当する方
 【定員】 10名
 【受講料】 16,500円/名(税込)
 【主催】 堺市産業振興センター
 【共催】 近畿職業能力開発大学校

◆◆◆◆カリキュラム◆◆◆◆

1. コース概要
2. 強度設計の重要性
 - (1)信頼性について
 - (2)信頼性の設計手法
 - (3)専門的能力の確認
3. 機械の力学
 - (1)仕事と動力
 - (2)ニュートンの運動の法則
 - (3)摩擦と機械の効率
4. 材料の静的強度設計
 - (1)材料の機械的特性(応力とひずみ)
 - (2)応力とモーメント
 - (3)安全率と許容応力
5. 機械要素設計
 - (1)ねじ・締付けネジの力学・締付けトルクと強度
 - (2)軸・ねじりモーメントが作用する軸・曲げモーメントが作用する軸・ねじりと曲げモーメントが作用する軸・キーの強度設計による選定法
 - (3)すべり軸受・すべり軸受の潤滑状態・すべり軸受の設計パラメータ
 - (4)転がり軸受・転がり軸受の種類と構造・転がり軸受の疲れ寿命・転がり軸受の許容回転数
 - (5)歯車・歯車の種類・歯車の用語と計算式
6. 機械設計課題及びまとめ



【申込方法】

下記の参加申込書に必要事項を記入し、FAXでお送りください。申込受付後、受講料振込用紙をお送り致しますので、記載の期日までに振り込みください。
 ※欠席の場合、受講料は返金できませんので、代理の方を派遣ください。開催日までに参加証をお送り致します。

【お申込み・お問合せ先】

(公財)堺市産業振興センター 担当:江口・小松
 〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町183-5
 電話 072-255-6700 FAX 072-255-1185
 URL <https://www.sakai-ipc.jp>

(公財)堺市産業振興センター 行

FAX 072-255-1185

令和元年度テクノ・オープン・カレッジ 「機械設計のための総合力学」 参加申込書

会社名				創業5年未満の場合は右欄に○をご記入下さい	
住所			電話	FAX	
参加者氏名	部署	役職	生年月日(西暦)	主な仕事内容/勤続年数	
(フリガナ)				/ 年	
(フリガナ)				/ 年	
本件の担当者氏名 (フリガナ)		部署・役職	連絡先電話番号		

※本セミナーは、堺市の創業支援事業計画に位置づけられた認定創業支援事業(人材育成)にあたります。詳細は、堺市ものづくり支援課までお問合せください。(Tel 072-228-7534 事業紹介URL <https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/shienyuushi/oshirase/sougyoushien/sougyoshienkeikaku.html>)

※お申込みにいただいた個人情報は、当セミナーへのお申込みの確認及び当センターが行うセミナー等のご案内に利用させていただく場合がございます。